



事務室を飾る花

## 『体罰ゼロ・飲酒運転ゼロ』は実現できる

信頼される学校、信頼される教職員であるためのコンプライアンス確保は、全職員が常に高い意識をもって取り組む基礎・基本

ゴールデンウィークも終了し、いよいよ今年度の教育活動が本格的に動き出す時期を迎えました。各学校においては、学習や各種行事に精力的に取り組んでいることでしょう。一人一人の子どもの可能性を引き出し、子どもに寄り添った指導をする教師、活力ある学校づくりを支えるチーム学校の一員である教師を目指してほしいと願っています。そして、基本的な「信頼される教職員」であるために、常にコンプライアンスに対する意識の高い教師を目指してほしいと思います。

県では、今年度も「不祥事ゼロ ～本気で取り組む～」を合言葉に、コンプライアンス確保に向けた研修の充実を図ります。管理職を中心とした研修会開催を基本に、「ONE IBARAKI」や「事務所だより」等での注意喚起、事例に基づく臨時研修会等の開催（必要に応じて開催）を予定しています。また、各学校においては、コンプライアンス意識高揚のために、年間を通しての校内研修会の計画、実践、振り返りをお願いいたします。

改めて、学校コンプライアンスの内容を整理してみます。

- 体罰・不適切な指導（人権侵害の発言含む）の根絶 **【R5県の重点事項】**
- 飲酒運転（酒気帯び運転）の根絶 **【R5県の重点事項】**
- セクハラ（わいせつ、パワハラ等の各種ハラスメント含む）の根絶
- 情報漏えい（紛失、改ざん、著作権侵害含む）の事故防止
- 公金不正取扱の禁止
- 交通法規の遵守・加害事故の未然防止 **【R5水戸教育事務所の重点事項】**



特に今年度は、「体罰・不適切な指導の根絶」と「飲酒運転の根絶」を県の重点事項とし、取組の強化を図ります。この2つは、「発生件数ゼロ」を実現できるものとして捉え、学校、市町村教育委員会、県教育委員会の総力を結集し、一人の処罰者も出さない覚悟で取り組んでいかなければなりません。

5月8日から、コロナの分類が2類から5類に引き下げられたことにより、いわゆる「宴会」が復活する学校も増えてくることと思われます。改めて、飲酒を伴う会合への出席方法、管理職への報告、帰宅方法の確認など、校内でのルールの見直しをお願いいたします。

コンプライアンス確保には、新米もベテランもありません。「自分は大丈夫」が最も危険であることを認識することが大切です。信用失墜につながってしまう不祥事は、「いつでも・どこでも自分の身に起こり得ること」として捉え、危機意識を高くもちましょう！



4月12日（水）、学校管理運営研修会のなかで第1回コンプライアンス確保のための校長研修会を実施しました。今年度の重点である「体罰・不適切な指導の根絶」「飲酒運転の根絶」に向けて、今年度各学校で取り組む内容について、情報交換をしました。短い時間でしたが、活発な意見交換が行われました。

どの学校の校長先生方も、自分たちの学校の子供たちや教職員を守るため、工夫ある取組等について熱く語ってくれました。